

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 4 年 1 月 22 日公表

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 | ○ | | 基準以上のスペースを確保しており、児童一人ひとりの個性に合わせられるように個室も設けています。 | 今後も利用定員とスペースが適切な関係になるよう努めます。 |
| | 2 | ○ | | 基準以上の人員配置となっており、言語聴覚士や公認心理師などの専門職員も配置しています。 | 今後も適切な職員配置となるよう努めてまいります。 |
| | 3 | ○ | | 玄関前は段差があるものの、室内はバリアフリー化されています。 | 玄関での外と中との区別がフラットで分かりづらいため、対策を検討してまいります。 |
| | 4 | ○ | | 全職員が参画して PDCA サイクルをおこなっています。 | 今後も定期的な会議で、各自が評価、業務改善策について検討、提案し討議してまいります。 |
| 業務改善 | 5 | ○ | | 年 1 回アンケートを実施し、アンケート内容をまとめて全職員で話し合い、改善に繋げています。 | 今後もアンケート内容をまとめて全職員で話し合い、改善に繋げてまいります。 |
| | 6 | ○ | | COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。 | 今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。 |
| | 7 | ○ | | 現時点では第三者評価は実施できておりません。 | 第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。 |
| | 8 | ○ | | 事業所内外での研修に参加し、意見交換をしたりと資質の向上を目指しています。 | 今後も積極的に研修に参加し、さらに資質の向上を目指してまいります。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | ○ | | 定期的にアセスメントを実施して、児童の状況や保護者様のニーズを踏まえて客観的視点で立案、支援計画を作成しています。 | 今後もアセスメントにより保護者様のご意向を踏まえ、児童発達支援計画を作成していきます。 |
| | 10 | ○ | | 標準化されたアセスメントツールを活用し、児童一人ひとりの状況を把握しております。 | 今後も継続して正確にアセスメントできるように努めてまいります。 |
| | 11 | ○ | | 児発管のアドバイスを受けながら、個々の課題を職員間で話し合っており、チームで立案しております。 | 今後も活動プログラムは随時チームで立案、計画してまいります。 |
| | 12 | ○ | | 基本となる活動は習慣化して定着を目的しながら作為的に固定化して、時に変化を持たせて、飽きることがないように工夫しております。 | 今後も児童が意欲的に取り組む姿勢を引き出せるよう、固定化しない活動を心掛けてまいります。 |
| | 13 | ○ | | 児発管の支援計画を基に、平日は個々の学習課題に取り組むことを重点に置き、長期休暇は季節感を取り入れたイベントや集団療育を計画、実施しながら支援しております。 | 今後も児童の希望も取り入れながら、継続して平日の連続活動、長期休みの季節行事や、制作等で変化を持たせ、楽しく支援してまいります。 |
| | 14 | ○ | | 児発管作成の支援計画を基に個々の能力向上を目指す個別活動と、他者との関わりを持つことで社会適応能力向上を目指す集団活動を組み合わせて計画を作成しております。 | 今後も適切に個別と集団のそれぞれの活動を組み合わせて、支援計画を立案してまいります。 |
| | 15 | ○ | | 工程表や職員用の連絡ノートを作成し、当日の流れや役割分担などについて共有しています。前日までの経過記録で確認した情報を踏まえて児発管と話し合い、支援に役立てております。 | 今後も毎朝当日の流れ、支援内容や役割分担についての情報共有のうえ、支援に取り組んでまいります。 |
| | 16 | ○ | | 支援終了後に事業所にいる職員同士で振り返り、情報交換をおこない、就業時間を終えて退社した職員には翌日必ず伝達しています。 | 今後も継続して共通認識に努め、報告、連絡、相談を徹底してまいります。 |
| | 17 | ○ | | 支援経過記録はその日のうちに担当した職員が必ず記録に残し、復習の必要性や、次の学習のステップへの移行を検討する材料として役立てております。 | 今後も継続して記録の記載を徹底し、より良い支援のために役立ててまいります。 |
| | 18 | ○ | | 定期的にモニタリングを実施し、児童の状況、保護者様のご意向を踏まえ、計画の見直しの必要性を判断しております。 | 今後も定期的に児童の現状把握、保護者様のご意向を確認のうえ、計画の作成や見直しを判断してまいります。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | ○ | | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている。 | 今後も基本活動を複数組み合わせ、より良い支援を目指してまいります。 |
| | 20 | ○ | | 担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参画しております。 | 今後も継続して児発管が参画し、支援計画や活動案に活かしてまいります。 |
| | 21 | ○ | | 保護者様から学校行事や下校時間の確認や変更を教えていただいたり、学校の先生よりスケジュール表をいただき、情報共有に努めております。 | 今後も継続して学校やご家庭と密に連絡を取り合い、いただいた情報については職員間で共有し、共通認識に努めてまいります。 |
| | 22 | ○ | | 現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。 | 事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。 |
| | 23 | ○ | | 高知県の「つながり」を活用し、受け入れに必要な情報を共有し相互理解に努めております。 | 今後も園や学校、児童発達支援事業所と連絡を取り合い、情報提供や助言をいただきながら、より良い支援のために体制を整えてまいります。 |
| | 24 | ○ | | 現在までに該当する児童がいないため、情報提供には至っておりません。 | 該当児童があった場合、関係機関等へ支援内容や活動状況等の情報を提供し、児童の移行先での活動に役立てていきたいと思います。 |
| | 25 | ○ | | 担当者会議で事業所同士で話し合い、療育センターでの検査結果等を見せていただき、貴重な情報として活用しております。 | 今後も積極的に研修へ参加し、各関係機関への助言を求め、連携してまいります。 |
| | 26 | ○ | | コロナ禍もあり、積極的な交流機会はありませんでした。殆どの児童は通学しており、個々で障がいのない子どもと交流ができていると考えております。 | コロナ収束後は、保護者様のご意向も伺いながら、交流機会を検討してまいります。 |
| | 27 | ○ | | 今年度はコロナ禍で協議会への参加機会はありませんでした。 | コロナ収束後は積極的に協議会や、子育て会議へ参加してまいります。 |
| | 28 | ○ | | 連絡帳でのやりとりや送迎時の面談を通して保護者様と情報交換をおこない、個々の児童の成長度合いや、課題について共通理解に努めております。 | 今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り、共通理解に努めてまいります。 |
| 保護者への説明責任等 | 29 | ○ | | ペアレントトレーニングという形式ではありませんが、個々の相談に応じ、出来る限りのアドバイスをおこなっております。 | 今後は規定の形式を有効活用し、ペアレントトレーニングの機会を検討してまいります。また継続して保護者様のお悩みに寄り添う支援に努めてまいります。 |
| | 30 | ○ | | 契約時に、あるいは保護者様からのご要望があれば、その都度児発管や管理者が分かりやすくご説明しております。 | 今後もわかりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。 |
| | 31 | ○ | | 連絡帳や送迎時での面談、または電話にて、お悩みやご要望をお聞きし、丁寧な対応に努めています。 | 今後も継続して子育てのお悩みについての的確な助言に努め、保護者様に寄り添う対応を心掛けてまいります。 |
| | 32 | ○ | | 本年度はコロナ禍のため、事業所の主催の保護者会等は開催できませんでした。 | コロナ収束後は、保護者様のご意向も踏まえ、保護者会等の開催を検討してまいります。 |
| | 33 | ○ | | 苦情窓口と責任者を配置し、玄関には意見箱を設置しております。苦情やご意見は、全職員間で話し合い、解決に向け迅速な対応に努めております。 | 今後も保護者様から忌憚なくご意見をいただき意見を共有し、出来るだけ迅速に対応し、問題を解決できるよう努めてまいります。 |
| | 34 | ○ | | 公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。また年 4 回「COMPASS だより」を季刊発行しております。連絡帳で行事予定やお知らせ、毎月の様子を記載し、配布しております。 | 今後も継続して情報の発信をおこないより保護者様に事業所の支援を知っていただくよう努めてまいります。 |
| | 35 | ○ | | 個人情報に記載された書類の廃棄はシュレッダーを使用し、個人情報のファイルは鍵付きキャビネットに保管・管理しております。 | 今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、取り扱い・保管に努めてまいります。 |
| | 36 | ○ | | 児童には特性に合わせた伝達方法を選択し、保護者に合わせた分かりやすい言葉で丁寧な情報伝達を心がけています。 | 今後も、個々の特性を考慮しながら、情報伝達を心がけ、意思疎通に努めてまいります。 |
| | 37 | ○ | | コロナ禍でもあり事業所行事に地域住民を招待する企画は実施できていません。 | 個人情報の観点から保護者様のご意向も踏まえ、地域イベントに児童と参加した方々を招待する等の機会を検討してまいります。 |
| | 38 | ○ | | 保護者様にご覧いただけるように各種マニュアルは事業所入り口に掲示し、事業所内では全職員で感染症や、緊急時対応について周知し、訓練を計画、実施しております。 | コロナ禍であるため、保護者様が入室し、掲示されたマニュアルをご覧いただくことは難しいと思います。ご要望に応じ、提示させていただきます。またお便りなどでも、マニュアルに基づいた訓練や、所内研修の実施内容をお知らせしてまいります。 |
| 非常時の対応 | 39 | ○ | | 隔月で様々な災害や、不審者対応に備えた避難訓練を実施しております。避難袋の補充も定期的におこない、有事の際に備えております。 | 今後も定期的な実りのある避難訓練を実施してまいります。 |
| | 40 | ○ | | 外部への研修には参加できておりませんが、事業所内で研修をおこない、全職員が共有、理解しております。 | 今後は積極的に外部への研修にも赴き、所内でも討議を続けてまいります。 |
| | 41 | ○ | | 利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、予め文書により保護者様の同意を得ることとしております。保護者様に詳しくご説明し、了承を得ております。 | 今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を守りながら、緊急時や、または児童の命に関わる事故が起きた場合、止むを得ない状況に限りおこなわれることを保護者様に十分に説明し同意を得てまいります。 |
| | 42 | ○ | | 保護者様にアセスメントシートへの詳しい記載をお願いします。現物相互で確認したうえで、アレルギー表を作成し、誤飲誤食がないよう全職員が細心の注意を払って対応しております。 | 今後も細心の注意を払いながら、慎重に対応してまいります。 |
| | 43 | ○ | | 事業所内外で起こった事例を記録し、定期的に振り返りをおこない、情報共有しております。 | 今後も情報共有と認識一致のうえ、事故防止のため、都度振り返りを心掛けてまいります。 |
| | 44 | ○ | | | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。